

病 防 第 1 6 号 の 1 1
平 成 2 9 年 2 月 2 8 日

各 { 関係機関の長
市町村長（農務関係課）
農業協同組合長
農業共済組合長
病虫害防除員 } 様

岐阜県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報（地区情報）の送付について

別紙のとおり予想されますので、指導上の参考にしてください。

記

病虫害発生予察情報（美濃地域） 3月予報

所 属	岐阜県病虫害防除所 企画情報係		
係 長	石 川	担 当	杉 原
T E L	0 5 8 - 2 3 9 - 3 1 6 1（直通）		
F A X	0 5 8 - 2 3 4 - 0 7 6 7		

平成28年度 病害虫発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 3月予報

【イチゴ】

ハダニ類

発生量の増加が認められます。寄生株率は16.0%（平年6.9%）と平年より高く、今後の気温は高いと予報されているため（2/23名古屋地方気象台1カ月予報）、さらに増加すると予測されます。天敵導入後もハダニ類の発生が抑制できない場合には、薬剤による防除を徹底してください。

○主な病害虫の発生状況及び今後の予測（3月）

作物	病害虫名	3月(予測)	発生状況及び今後の予測	2月(発生量)	防除上の注意事項
イチゴ	灰色かび病	やや少	調査ほ場では発病は認められない。今後、気温の上昇により発生が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・灰色かび病 発病部位の他、枯死した花卉や果梗部については見つけしだい除去し、被害の拡大を防ぐ。 ・ハダニ類 全面で寄生が見られるほ場がある。ほ場内をよく観察し、発生が認められれば薬剤防除を実施する。同一系統薬剤の連用は避ける。
	うどんこ病	やや少	調査ほ場では発病は認められない。今後、気温の上昇により、施設内が発生適温となるため発生が予測される。	少	
	ハダニ類	多	調査ほ場で発生が認められる。施設全体で発生が認められ、今後、気温の上昇とともに増加が予測される。	多	
	コナジラミ類	やや少	調査ほ場では発生は認められない。今後、気温の上昇により発生が予測される。	少	
トマト	灰色かび病	やや少	調査ほ場では発病は認められない。今後、気温の上昇により発生が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・コナジラミ類 施設内の発生状況に注意し、本虫が増加する前に薬剤防除を行う。
	コナジラミ類	やや少	調査ほ場で発生が認められる。今後、気温の上昇により増加が予測される。	少	
キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場では発病は認められない。耐病性品種では今後も発生は少ないと予測されるが、一部の罹病性品種では発生すると予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・べと病 過湿時には発生が助長されるため、送風機などを利用し、通風を良くする。発病が認められたら被害葉は除去し、薬剤防除を行う。 ・アザミウマ類(ミナミキイロ) 施設内の発生状況に注意し、本虫が増加する前に薬剤防除を行う。
	うどんこ病	やや少	調査ほ場で発病が認められる。今後、気温の上昇により、施設内が発生適温となるため増加が予測される。	少	
	べと病	少	調査ほ場では発病は認められない。今後、降水量は少ないと予想されており、急激な増加はないと予測される。	少	
	アザミウマ類	やや少	調査ほ場では発生は認められない。今後、気温の上昇により発生が予測される。	少	
	コナジラミ類	やや少	調査ほ場では発生は認められない。今後、気温の上昇により発生が予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種：イチゴ（濃姫・美濃娘）、トマト（CF桃太郎J：葉かび病耐病性）、キュウリ（極光・千秀2号：褐斑病耐病性）

野菜類 うどんこ病

キュウリの半促成作型では、2月下旬に初発生が確認されました。本病は、果実や葉、葉柄、果梗、つぼみなど、全身に発生します。発病部位には白色粉状のカビが見られ、分生胞子が風などによって飛散し、拡大します。

本病の発生適温はキュウリで15～28℃、イチゴでは20℃前後で、乾燥・多湿いずれの条件下でも発生します。

ほ場内をよく観察し、発生を認めた場合は葉裏まで葉液がかかるように丁寧に防除してください。また、発病部位は感染源となるため、早めに除去してください。栽培終了後は次作への伝染を防ぐため、罹病残渣を施設外に持ち出し、適切に処分してください。



果実での発病（イチゴ）



葉での発病（キュウリ）

数値データ

(調査：岐阜・西濃地域2月)

作物	病害虫名	単位	H28	平年
イチゴ	灰色かび病	(発病果率)	0	(0.1)
	うどんこ病	(発病果率)	0	(0.9)
	ハダニ類	(寄生株率)	16.0	(6.9)
	コナジラミ類	(寄生株率)	0	(2.0)
トマト	灰色かび病	(発病果率)	0	(0.1)
	灰色かび病	(発病株率)	0	(-)
	コナジラミ類	(誘殺頭数)	0.5	(1.6)
キュウリ	褐斑病	(発病葉率)	0	(0.03)
	うどんこ病	(発病葉率)	0.1	(0.3)
	べと病	(発病葉率)	0	(0.0)
	アザミウマ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.01)
	コナジラミ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.0)

注1) ()内数値は平年値、単位は株率・果率・葉率は%、頭数は頭

注2) イチゴ、トマトは3ほ場、キュウリは2ほ場の調査

注3) トマト灰色かび病の発病株率は本年度より調査開始したため平年値なし

注4) トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板1枚あたりの誘殺数（調査期間：1/V～2/IV）

＝施設栽培の病害虫防除について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

東海地方1カ月予報(名古屋地方気象台 2月23日)

向こう1カ月の平均気温は平年並み～高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年より多い予想です。平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸 729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767